

都城市立美術館

Miyakonojo City Museum of Art

本市出身のみうら悦子(1950~)が、都城駅の線路で偶然出会った犬を一枚の写真に収めた本作。夕焼けの光が、真っすぐな線路と正面を見つめる犬の輪郭を印象的に浮かび上がらせます。1987年の都城市美術展に出品された本作は、写真部門で大賞を受賞。審査員である写真家の植田正治は「情感のある力作」「白い犬のいる場所がいい」と高く評価しました。

30代で写真を始めたみうらは、宮崎県美術展などで受賞を重ねながら、2007年には日本の美術家団体の一つである二科会会友となり、現在も写真を撮り続けています。※市民からの公募による「第70回記念都城市美術展」は、9月14日(土)から29日(日)まで開催予定。本作の展示はありません

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

「タロー」

みうら 悦子 作 (1987年)



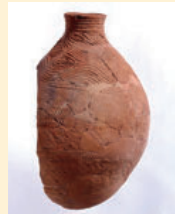
History exploration
歴史探訪!

志和池地区の遺跡 ~下箇遺跡と築池遺跡~

多くの遺跡が存在する志和池地区。今回は、その中から、2つの遺跡について紹介します。

昭和63年、丸谷町の下箇遺跡では、授業で地層の観察をしていた志和池小学校の児童と先生が縄文時代の土器を発見しました。土器の形はつば形で、表面には彫った木の枝を転がして飾り付けるギザギザの文様(山形文)が見られます。この文様の特徴から、約8千年前に作られた手向山式土器(縄文土器の一種)であると分かります。本土器は市内で見つかった最古のつば型土器です。

下水流町の築池遺跡では、これまで複数回にわたる発掘調査が行われていて、特に多く見つかったのが、古墳時代に造られた墓です。地下式横穴墓という地面の下に造る古墳で約70基が見つっています。



手向山式土器の壺
(都城歴史資料館で展示中)

※下箇遺跡や築池遺跡のほか、本市のこれまでの発掘調査の歩みを、9月10日(火)から10月10日(木)まで志和池地区公民館で開催する巡回企画展「都城市発掘60年~みやこんじょに生きた人々~」で展示します

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547



都名所図会

都城島津
伝承館
だより

「都名所図会」

本史料は、読本作者・俳人の秋里籬島によって1780(安永9)年に出版された京都に関する地誌です。従来の地誌は、文章に簡単な挿し絵を付ける程度でしたが、本史料には各所旧跡の風景や神社仏閣の境内などが詳細に描かれています。また、挿し絵中には人物を配置することで、見た人がその人物を自分に置き換え、実際に旅をしているように感じる仕掛けがありました。

本史料の刊行後、籬島は諸国を実際に訪れて調査し「大和名所図会」や「東海道名所図会」などを次々に出版。それをきっかけに多くの絵が描かれた名所図会が流行しました。

当時、都城地域において編さんされた地誌にも大きな影響を与えたことがうかがえる本史料。本市は1786(天明6)年に再販されたものを所蔵しています。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116



工場内の作業の様子

昭和26年の創業以来、木のぬくもりとやすらぎを提供し続ける株式会社日東。70年を超える歴史を経て、今では工場・倉庫を9施設備え、全体で70人の従業員が働いています。松を中心に建築用材の製材から販売まで木材に関わる業務を一貫して担う同社。松フローリングの先駆者として、桧床板・壁板の生産量国内1位を30年連続で達成しています。

「松の根曲がり材を活用した画期的な製品を創業者東三郎が考案したことが、今の成功につながっている」と振り返るのは、3代目代表取締役社長の東宗一郎さん。また、近年は「床が空気を洗う」という新発想で生み出された抗菌・消臭・アレルギ物質の分解などの効果がある床板など、時代のニーズに即した製品も開発してきました。このような製品開発は、創業時から受け継がれてきた同社の社是「創意工夫」から見て取れます。「住宅建築の在り方が変容する中で、使う人のニーズに合った商品を提供し続けるために欠かせない考え方」と東社長は語ります。

木育活動に取り組みむ同社は、都城地区木材青年会会長でもある東社長自らが講師となって、子どもたちがやすらぎなどを使って県産松の箸を作ることができる木育授業なども開催しています。「これからも子どもたちに木の温もりを伝えながら、「木のまち都城」をPRしていきたい」と語る東社長の瞳には、木とともにある社会の実現を目指す強い決意が輝いていました。

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.48

株式会社日東

☎24-2323



親子向けの木育活動を行う東社長

今月の**読者プレゼント**



焼肉カーニバルチケット(4人分) 3組

プレゼント提供事業者

都城観光協会 (都北町5225-1) ☎38-2460

10月26日(土)に観音池公園で開催される「都城焼肉カーニバル」のチケットをプレゼント。都城が誇る牛・豚・鶏肉と、音楽とともに夜空を彩る1万2900(イニク)発の火花を一緒にお楽しみください。

プレゼントの応募方法

はぎきに住所、氏名、電話番号と、9月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 9月30日(月) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙11月号
- ◎7月号当選者 もっくん ほか19人
- ◎7月号応募総数 171通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

POST CARD

8 8 5 8 5 5 5

63円切手を
お貼りください

都城市役所 秘書広報課 行

(広報都城 No.225 2024年9月号)

フリガナ
氏名

ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、イニシャルで表示させていただきます

住所 □□□□□□□□

電話番号 () -

私の夢

だいち 山口 大馳さん 吉之元小6年 (写真左)

おいしい料理を作って
両親を驚かせる料理人になりたい



都城市現住人口

	令和6年8月1日現在	前月比	前年比
世帯数	73,640世帯	(22)	(1,512)
人口総数	159,533人	(-46)	(1,591)
男性	75,084人	(-32)	(895)
女性	84,449人	(-14)	(696)

スマートフォンからも統計情報を確認できます。



※令和2年国勢調査に基づく推計人口

編集後記

さまざまな領域で活用が進む生成AI。本市は民間企業と共同で自治体AIを開発し、運用を進めています。世の中が高度化・複雑化し自治体の業務も多様化する中、AIを有効に活用できるか否かが問われる今日。その進歩に後れを取らないよう、使う側の私たちがスキルを磨き日々アップデートする必要があると感じています。(博)

例年にも増して猛暑が続いた今年の夏。取材や撮影に行くたびに少しずつ日焼けが進み、いつの間にか夏休みの子どもたちのようなこんがりした腕ができてきました。気付けば9月に差し掛かり、秋はもう間近。行楽シーズンは野外でのイベント撮影も多く、まだまだ私の腕はこんがりを脱却できそうにありません。(つ)

8月号の表紙を飾った「おかげ祭り」。大迫力の御輿や担ぎ手の息づかいを間近で感じとり、その熱狂に胸が熱くなりました。広報担当になりはや4カ月。このような貴重な体験や皆さんの大切な瞬間に立ち会えることをうれしく思います。今後も、本紙を通じてさまざまな場面を温かく、そして力強く伝えていきたいです。(賢)

都城フィロソフィ²⁹

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第4章 結果にこだわる

楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する

何かを始めるときに、最初から後ろ向きな気持ちでは、何も生み出すことはできません。新しいことを成し遂げるには、まず夢を持って、楽観的に構想することが大切です。楽観的な気持ちで自由に構想することで、実行に必要なやる気も増していきます。

しかし、計画を立てるときには、必ずやり遂げるという強い意志を持った上で、起こり得る全ての問題を悲観的に想定する必要があります。そして、対応策を慎重に考え尽くし、成功までの行程を固めなければなりません。

そして、多少のトラブルが生じても想定内と考え、必ずできるという信念を持ち、楽観的に明るく堂々と実行していくことが求められます。

届けたい都城の風景



「南九州大学屋上からの霧島山」(立野町)



「都城歴史資料館・ナイトミュージアム」(都島町)



全長120mのスライダーはスリル満点やっほ〜



市内最大のレジャースポット！
江戸時代に造られたかんがい池・観音池を中心に広がる「観音池公園」。本公園は敷地面積63haを誇り、季節を問わず多くの人が訪れる市内最大のレジャースポットです。
園内には、ゴーカートや観覧車、リフト、スライダーなど、親子で一緒に楽しむことができる乗り物が勢ぞろい。大きな滑り台がある遊具広場は遠くまで見通せるので、安心して子どもたちを遊ばせることができます。こちらも魅力です。

【施設概要】

- 住所 高城町石山 4195
- 駐車場 692台
- その他 温泉施設「観音さくらの里」は、水曜日定休。観覧車やゴーカートなど有料遊具は土・日曜日・祝日のみ利用可能

◎問い合わせ

観音池公園総合案内所
☎58-6139

キャンピングも温泉も！
園内にオートキャンプ場を備える本公園。最大15人が宿泊できるバンガローは、グループや家族での利用にぴったりです。また、テント派の人にもうれしいAC電源完備のサイトもあり、好みのスタイルで夜を過ごすことができます。
キャンプ場から徒歩でわずかかの距離にある温泉もうれしいポイント。広々とした浴場にある13種類ものお風呂は、温泉好きにはたまりません。大人も子どもも、さまざまな楽しみ方ができる観音池公園。ぜひ足を運んでみませんか。



新刊紹介

おすすめ図書

◎問い合わせ
市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224



どうぶつえん

スージー・リー(作)、サウザンブックス社(出版)
ママとパパと動物園でゴリラの家やクマの丘を覗いていると、突然きれいなクジャクが。一人でこっそりついていったら、そこには…。子どもが見ている世界をカラフルに描いた1冊。



ケアする声のメディア

小川明子(著)、青弓社(出版)
病院内の小さなスタジオから放送するホスピタルラジオは、患者や医療従事者からリスナー一同をゆるやかにつなぐ。国内外の事例を紹介し、ケアするメディアの可能性を探ります。

【市立図書館】 ●休館日/9月3日
●開館時間/9:00~21:00

【高城図書館】 ●休館日/9月10日・15日・16日・17日・22日・24日、10月1日・8日・14日・15日
●開館時間/9:30~18:00

まちなかdeわくわく

市立図書館が市美展のサテライト会場に!



第70回を迎える都城市美術展。今年も市立図書館をサテライト会場として、市内外から出展された絵画や彫刻、書、映像作品などの作品を展示します。まちなかですてきな美術作品に出会うことができる貴重な機会。ぜひお越しください。

■会場 市立図書館1階ショーケース
■会期 9月14日(土)~29日(日)
■その他 1階の市内施設ボックス(常設)では、美術館の最新情報をいつでも確認できます

◎問い合わせ 市立図書館 ☎22-0239